

2011年度 連結業績見通し

(単位:億円)

	2011年度	2011年度		
	前回(2/1) 公表予想	今回(4/10) 予想	前年比	前回予想 からの差額
売上高	25,500	24,500	81.1%	▲1,000
営業利益	0	▲400	-	▲400
経常利益	▲300	▲700	-	▲400
当期純利益	▲2,900	▲3,800	-	▲900

SHARP

前回予想からの主な変動要因

項目	前回予想 からの差額 (億円)	内容
売上高	▲1,000	・モバイル液晶等(約600億円) ・その他の部門(約400億円)
営業利益 ・経常利益	▲400	・モバイル液晶等の利益減(約300億円) ・大型液晶等の在庫評価損(約100億円)
当期純利益	▲900	・営業・経常利益の減少(約400億円) ・事業構造改革費用(在庫評価減等 体質改善費用)の積み増し 等による特別損益の悪化(約500億円)

SHARP

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (6) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

SHARP